http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyouikunojouhouka_top.html

さがみはらGIGA通信 第９号

令和４年３月９日　相模原市教育センター　学習情報班　発行

GIGA スクール構想の推進に伴うタブレット PC 等の整備により、義務教育段階の学び方が変わり始めています。さがみはら GIGA スクール通信では、相模原市立小中学校等が取り組む、新たな学びの姿をレポートしていきます。第９回は小学校特別支援学級の様子をお届けします！

▲児童は、それぞれの習熟度に応じて ICT を活用していました。

◀キータイピングがあまりにも早いので、写真での手元がぶれています！日ごろの練習の成果が出ています！

▼全員、自分の課題に集中して取り組んでいました。

キーボードマスターになろう！

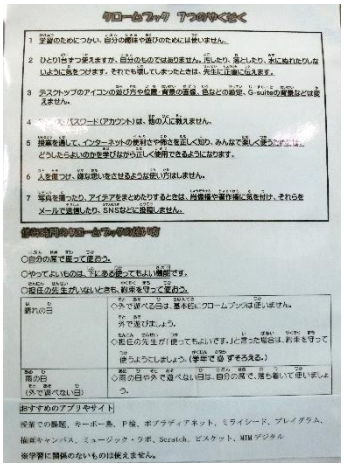
２月、二本松小学校のわかば級では、ドリル学習やキーボード入力の練習にタブレット PC を活用していました。

１年生から２年生は、ミライシードのドリルパークを使い、ドリル学習に取り組みました。文字を書く練習や、計算ドリルなど、個別の習熟度に合わせた問題に取り組んでいました。書き順など、コンピュータが自動採点してくれるため、自主的に学習を進めていました。

３年生から６年生は、ベネッセの「P 検無料タイピング練習」を使い、５分間の日本語入力練習に取り組みました。多くの児童が自主的に練習を重ね、ブラインドタッチ、ホームポジションで入力ができており、速い児童だと１分間に 100 文字以上の文字を打っていました。

児童の ICT 活用スキルの高さに、驚きを覚えました。

今回活用したサービス
- ベネッセミライシード
- P 検　無料タイピング練習
- スズキ教育ソフト
- キーボー島アドベンチャー



▲二本松小学校のタブレット PC 活用のための約束。特別支援学級の黒板にも掲示されていました。

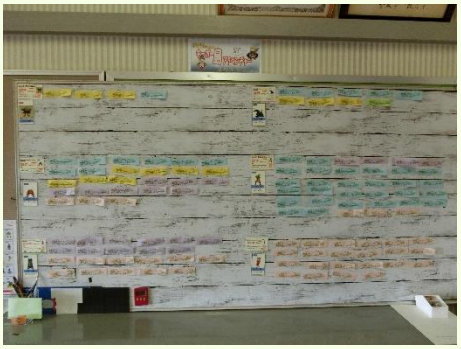
GIGA スクールで必須のスキル「キーボード入力」について

キーボード入力は必須の ICT スキルとされています。平成 26 年度時点で、全国の小学 5 年生の平均文字入力数は 5.9 文字/分となっており、二本松小わかば級の児童の飛びぬけ具合が分かります。

１人１台環境の学びにチェンジする取組

◀タブレット PC を取り出す児童の様子。自分で取り出す、電源を入れてログインする、そして最後にはしまうこともできます。

ホームポジション▶で、ブラインドタッチをする児童の様子。顔も画面から 30 センチ以上離れており、全ての児童生徒のお手本のような姿勢でした。



◀校長室には、キーボー島アドベンチャーの認定証をもらった人たちが一目でわかるボードが掲示してありました。

他校の特別支援学級はこんな活動をしていました

▲串川小学校クローバー級では、国語の「へんとつくり」のまとめとして、「VISCUIT」を使って、へんとつくりが動いて、漢字になるアニメーションをプログラミングしました。最後は、みんなに紹介しました。

こうして実現! １人１台活用の工夫

二本松小学校のこの取組は、どのような工夫で実現されたのでしょう？わかば級担任の大谷将輝先生にインタビューしてみました。

タブレット PC を使えるようになるための工夫と、おすすめはありますか？

毎日欠かさず触れるようにしています。苦手な児童も、支援を工夫することでログインを一人で行います。P 検、プレイグラム、ミライシードをお気に入りに入れて、積極的に取り組んでいます。高学年はサイトやスライドを使って、交流会で使うクイズやクラス紹介を自分たちで作りたいと申し出があったので、使い方を教えるとすぐに、文章を打ったり、写真を撮ったりできるようになりました。

児童が上手に使えるようになるために、どのように約束をつくっていますか？

「①使っていい時間を決めて、その時間を必ず守る。」「②毎日決まった時間で一斉に P 検を実施する。」こうすることで、５分間を集中して取り組むことができています。

最初のうちはトラブルがあったと思いますが、どのように解決しましたか？

まずは教職員が研修を重ねて、最低限の知識と技能をもつようにしました。児童には始めに高学年にやり方を指導し、低学年に教えられるようにしたことで、スムーズに取り組めるようになりました。また、低学年の通常の学級に、わかば級の児童がログインなどの手伝いに行くこともしました。それによって、わかば級の児童は自信をもつことができ、通常の学級の児童からは、「わかば級の子ってすごいな」と声があがっていました。

１人１台環境の学びで期待していること、児童に期待していることはなんですか？

将来どのような職に就いても、必ずタイピングが必要になってきます。そのために、今からキーボードに慣れて、ローマ字入力ができることで様々な分野で活躍できると期待しています。また、何か困った時にインターネットを使って調べることが日常的になっている現代で、すぐに調べ、活用する能力が身につくことも期待しています。